

中間成果報告会

平成 18 年度「魅力ある大学院教育」イニシャティブ採択
先端基礎科学開拓研究者育成プログラム
-地域先端研究施設との連携による開かれた教育-

岡山大学大学院自然科学研究科先端基礎科学専攻では、平成 18 年 7 月上記事業が文部科学省に採択されて以来、より実質的な大学院教育を目指しこれまで事業を推進してまいりました（次々ページ資料参照）。

本プログラムを貫く理念は、「夢のある教育・研究」、「開かれた教育・研究」に集約され、それらの教育からこれからの日本を支える先端技術を駆使できる技術者、更に自立した研究者の養成を目的としています。夢を持たせる動機付け教育では 1) 最新・最先端研究設備に触れる現場体験、2) 感激をばねに導入教育、3) 好奇心を持つての実習、4) 武者修行による自己啓発などのように、上昇しつづける教育スパイラルに乗せることを意図しています。また、開かれた教育・研究では、1) 教育レベル、博士取得レベルを標準化し世界に通用するものとする(電子カルテとアドバイザリボード)、2) プログラムの経験を生かして学生に広い視野を持たせる、3) 自ら修業することにより研究者としての自主独往の精神養成をおこないます。

来る 4 月 6 日（金）13:00 より、上記の事柄がいかに推進されたかを、広く皆様に評価いただくために、中間報告会（次ページ、プログラム参照）を開きます。この報告会には関連する分野のエキスパートである外部評価委員 2 名、ドイツからのアドバイザー 1 名、SPring8 での実習で御協力いただいた企業の方々、神岡や高知コアでの実習を援助くださったスタッフの皆さん、実習を行った院生などが参加し、臨場感あふれる総括を行います。私たちはこれまでの成果と反省に立ち、新時代にふさわしくイニシャティブとなる大学院教育のモデルを提案したいと思っていますので、大学生や進路指導に当たられている高校の先生などの教育関係者はもちろんのこと、中学や高校の子供さんをお持ちの一般の皆様にも是非御来場いただき、今岡山大学の大学院で行われている新しい教育をご認識いただくとともに、御指導や御助言をいただければ幸いです。

岡山大学「先端基礎科学開拓研究者養成プログラム」中間報告会
開催場所 岡山大学50周年記念館

平成19年4月6日(金)

13:00 開会挨拶 高田研究科長

13:05 挨拶 田中副学長

13:15-13:45 基調報告

イニシアティブ事業の概要

カリキュラム, カルテ・ボードシステム, シンポジウムの報告

13:45-14:15 他機関の取り組み

首都大東京の試み(仮題) (首都大東京, 岡部豊教授)

ドイツのPhD事情(仮題) (Hannover Uni. Prof. H.-J.Mikeska)

14:15-14:30 休憩

14:35-15:50 実習報告

14:30-14:45 高知コア実習報告 教員と学生のコメント

14:45-15:00 神岡実習報告 教員と学生のコメント

15:00-15:40 放射光実習報告 教員, 学生, 企業研究者からコメント 5分2件程度

15:40-15:55 武者修行報告 教員と学生のコメント

15:55-16:15 来年度に向けて

16:15 挨拶 吉良理事長

16:25 閉会の辞

<http://www.okayama-u.ac.jp/50kinenkan/kinenkan-index.htm>

問い合わせ先: 大学院自然科学研究科 教授 原田 勲 (086-251-7808)

文部科学省 平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ
先端基礎科学開拓研究者育成プログラム
 地域先端研究施設との連携による開かれた教育

取組担当者名: 原田 聡

岡山大学大学院自然科学研究科先端基礎科学専攻では、改組を機に社会的ニーズや学院領域の新たな発展に対応するため、大学院教育の実質化を図り、「先端基礎科学の開拓とそれを推進できる研究者の育成」を目指します。そのために、基礎科学の徹底教育と地域先端科学施設を積極的に利用した現場体験型教育と、現代の先端科学水準を更に切り開く自立型研究の奨励など次のようなプログラムを実施します

1. 学部専門・大学院博士前期・後期課程教育の体系化
2. 講義、実習、研究のバランスよい配課
3. 国際選手シンポジウム附録や国内外での武者修行
4. 博士号取得の標準化・透明化(アドバイザーボードの設置とそれを実質化する研究者育成カルテの作成)

先端基礎科学専攻
 基礎科学教育と先端科学技術教育の融合



入門科目、専門家の講義、施設研究者の特別講義

地域先端科学施設との連携

施設の見学、先端技術実習、長期滞在

自立した先端基礎科学の研究が可能(博士)
 企業で先端施設の産業利用推進(修士)

様々な科学領域をカバーする3コース



先端基礎科学を開拓できる研究者を育成
 基礎科学による応用力+先端科学技術経験

先端科学技術分野における日本の優位、革新